



令和 8 年 7 月 31 日



ほくほく線「芸術祭列車」の運行について

北越急行株式会社では、十日町市及び津南町で開催されている「2026年の越後妻有」(令和8年4月25日～11月8日)において「芸術祭列車」を運行し、ほくほく線の美佐島駅を舞台とした芸術作品「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」を展開します。

- 運 行 日： 令和 8 年 9 月 1 3 日 (日)
令和 8 年 1 0 月 2 5 日 (日) の 2 日間
※予約開始は 8 / 3 1 0 時～

- 運 行 時 刻： まつだい・十日町⇒美佐島 (作品鑑賞) ⇒十日町・まつだい

	まつだい発	十日町発	美佐島	十日町着	まつだい着
1 便	11 : 08	11 : 19	《作品鑑賞約 5 分》	11 : 49	11 : 59
2 便	14 : 13	14 : 24	《作品鑑賞約 5 分》	14 : 54	15 : 04

※美佐島での停車時間は 1 2 分

※ 1 便あたり 3 5 名定員となります。

- 作 品 名： JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

- 作 家： パノラマティクス／齋藤精一

- 鑑 賞 料 金： 大 人 600 円 (共通チケット提示で 500 円)
小中学生 400 円 (共通チケット提示で 300 円)
※別途、乗車区間の運賃が必要です。

お問い合わせ先
北越急行株式会社 営業課
担当: 野上・高橋
025-750-1251
(平日 9:30～17:30)

作品イメージ



パノラマティクス/齋藤精一「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」 photo Nakamura Osamu

作品名: JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

都市開発や地形の変化などで見えなくなった地域の軸や視点の軸・歴史の軸を光で表現するプロジェクトシリーズです。今回は、北越急行ほくほく線の美佐島駅が舞台。1997年に開通して以来、新たな地域とのつながりを生み出してきたほくほく線。その軌道を使って、地点と地点を結ぶことの尊さやエネルギーを表現した作品です。特別列車の前後に設置された照明装置によって、まっすぐに伸びるトンネルが音と同期して照らされます。特別列車に乗車して訪れた人だけが鑑賞できる体験型作品となります。

作家: パノラマティクス／齋藤精一

パノラマティクス主宰。建築デザインをコロンビア大学建築学科で学び、2006年、株式会社ライゾマティクス(現:株式会社アブストラクトエンジン)を設立。2020年に地域デザイン、観光、DX等を手がけるデザインコレクティブ「パノラマティクス」を結成。2023年グッドデザイン賞審査委員長。2025年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター。